

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2022年11月11日

上場会社名 中央ビルト工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1971 URL <http://www.chuo-build.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 健
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営統括本部長(氏名) 松澤 範生 (TEL) 03-3661-9631
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,372	13.3	△73	—	△80	—	△85	—
2022年3月期第2四半期	3,860	△4.7	21	—	74	—	67	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第2四半期	△36.50		—					
2022年3月期第2四半期	28.68		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,682	2,546	29.3
2022年3月期	8,525	2,650	31.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,546百万円 2022年3月期 2,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,004	△1.2	132	△14.6	112	△44.1	79	△58.9	33.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	2,378,740株	2022年3月期	2,378,740株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	27,536株	2022年3月期	27,446株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	2,351,227株	2022年3月期2Q	2,351,436株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢による資源・エネルギー価格の上昇や、急速に進行した円安、中国におけるゼロコロナ政策による都市封鎖等の影響から、景気の先行きは不透明な状況となっています。

当社の主な関連業界である建設及び住宅業界においては、公共投資は堅調に推移し、民間投資は首都圏の再開発や物流施設案件などによって需要動向は緩やかな右肩上がりとなっておりますが、建設コストの上昇もあり採算性が低下している状態にあります。

このような状況の中、当社の仮設部門もその影響を受け、これまで以上に値下げ圧力・受注競争が激しくなっております。一方、住宅鉄骨部門の製造は、資材や供給エネルギーの高騰はあるものの堅調に推移しました。当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,372百万円（前年同四半期比13.3%増）と増収となりました。一方、損益面においては、営業損失73百万円（前年同四半期は営業利益21百万円）、経常損失80百万円（前年同四半期は経常利益74百万円）、四半期純損失85百万円（前年同四半期は四半期純利益67百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(仮設機材事業)

社会インフラ整備等による建設需要は持続しているものの、鋼材の高騰やエネルギー価格の上昇等により需要家の購買意欲は低調のままで、また価格競争も一層激化しており、売上高は1,181百万円（前年同四半期比5.0%減）と減収となりました。セグメント損失は140百万円（前年同四半期はセグメント損失113百万円）となりました。

(住宅鉄骨事業)

住宅鉄骨用部材の好調な需要に支えられ、売上高は3,191百万円（前年同四半期比21.9%増）と増収となりました。一方、損益面では、セグメント利益71百万円（前年同四半期比49.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末の総資産は8,682百万円となり、前事業年度末に比べ157百万円増加しました。流動資産が4,133百万円（前事業年度末比190百万円増）、固定資産は4,549百万円（前事業年度末比33百万円減）となりました。総資産の主な増加要因は、棚卸資産が370百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

負債合計は6,136百万円となり、前事業年度末に比べ262百万円増加しました。流動負債が3,744百万円（前事業年度末比0百万円減）、固定負債が2,392百万円（前事業年度末比263百万円増）となりました。負債の主な増加要因は、短期借入金が300百万円減少した一方、長期借入金264百万円、買掛金が258百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産合計は利益剰余金が104百万円減少したことなどにより2,546百万円（前事業年度末比104百万円減）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月20日の決算短信で公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,466,207	1,345,240
受取手形及び売掛金	1,432,998	1,345,119
棚卸資産	1,015,538	1,386,262
前払費用	14,089	15,499
未収入金	11,340	37,782
その他	3,987	4,845
貸倒引当金	△1,289	△1,210
流動資産合計	3,942,873	4,133,540
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,973,183	1,976,793
減価償却累計額	△1,655,435	△1,668,869
建物(純額)	317,747	307,923
構築物	736,072	747,572
減価償却累計額	△517,341	△530,890
構築物(純額)	218,731	216,682
機械及び装置	790,860	794,410
減価償却累計額	△698,601	△707,734
機械及び装置(純額)	92,259	86,675
貸与資産	6,969,914	6,950,169
減価償却累計額	△6,503,962	△6,483,720
貸与資産(純額)	465,952	466,448
車両運搬具	62,383	62,513
減価償却累計額	△54,166	△55,795
車両運搬具(純額)	8,216	6,717
工具、器具及び備品	258,556	259,238
減価償却累計額	△228,946	△231,795
工具、器具及び備品(純額)	29,609	27,443
土地	3,070,361	3,070,361
リース資産	96,152	96,152
減価償却累計額	△40,752	△47,396
リース資産(純額)	55,399	48,755
有形固定資産合計	4,258,278	4,231,009
無形固定資産	76,625	71,829
投資その他の資産		
投資有価証券	200	200
繰延税金資産	35,048	35,048
差入保証金	209,460	209,299
その他	2,916	1,936
投資その他の資産合計	247,625	246,484
固定資産合計	4,582,530	4,549,323
資産合計	8,525,403	8,682,863

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	531,426	536,792
買掛金	888,444	1,147,235
短期借入金	1,600,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	397,424	534,094
未払法人税等	32,903	10,663
賞与引当金	19,303	20,811
役員賞与引当金	9,826	—
その他	266,044	194,856
流動負債合計	3,745,371	3,744,453
固定負債		
長期借入金	1,902,306	2,166,924
退職給付引当金	134,464	142,141
長期未払金	1,098	—
その他	91,360	83,235
固定負債合計	2,129,229	2,392,300
負債合計	5,874,601	6,136,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	508,000	508,000
資本剰余金	758,543	758,543
利益剰余金	1,412,073	1,307,433
自己株式	△27,814	△27,867
株主資本合計	2,650,802	2,546,109
純資産合計	2,650,802	2,546,109
負債純資産合計	8,525,403	8,682,863

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,860,358	4,372,879
売上原価	3,484,150	4,088,102
売上総利益	376,208	284,776
販売費及び一般管理費	354,958	358,757
営業利益又は営業損失(△)	21,249	△73,980
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	2
保険解約返戻金	56,083	—
受取地代家賃	2,934	2,329
雑収入	2,673	515
営業外収益合計	61,694	2,847
営業外費用		
支払利息	7,672	8,811
雑支出	1,114	371
営業外費用合計	8,787	9,182
経常利益又は経常損失(△)	74,157	△80,314
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	74,157	△80,314
法人税、住民税及び事業税	6,726	5,514
法人税等合計	6,726	5,514
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67,430	△85,829

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。